

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 5月22日更新

事務事業名		中学校進路指導対策支援事業				☐ マニフェスト関連 ☒ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	教育の健康			所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	右田 純司
	施策	9	義務教育の充実			所属課	学校教育課	担当者名	齋田 奏子
	施策の柱	31	学力の向上			所属班	学務指導班	(内線)	2227
予算科目		会計一般	款10	項1	目3	事業連番10632	根拠法令	中学校進路指導対策支援補助金交付要綱 合志市補助金等交付規則	
終了、開始年度		☐ 28年度で終了 ☐ 28年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (～ 年度)		
								成果優先度評価結果	①
								コスト削減優先度評価結果	⑥

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	中学3年生の進学、就職に係る進路保障対策、進学率の向上のために開始された。 市内3中学校の3年生の進路指導及びその事務の円滑な運営に必要な経費を助成する。 補助金の額は、その年度における5月1日現在の第3学年在籍生徒一人当たり540円で算出した金額とする。
【業務の流れ】	補助金申請書受付事務、補助金交付決定事務、補助金支払い事務、実績確認事務
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動) (DO)		29年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
3中学校で実施される、中学3年生の進学、就職に係る進路保障対策のための事業(受験手続き・引率等)に対する経費を助成した。		3中学校で実施される、3年生の進学、就職に係る進路保障対策のための事業(受験手続き・引率等)に対する経費を助成する。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア 卒業後の進路が決定した生徒	人	5月1日現在の中学3年の生徒数の見込みが前年度より減員となるため補助金の減額	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
→ ア 中学3年生		→ ア 中学校3年生の生徒	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
→ ア 中学校卒業後の進路を決定してもらう。		→ ア 中学校卒業後の進路が決定した生徒の割合	%
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
卒業していく生徒の進路を保障する事業である。又、目標は、全ての子ども達の進路が決定することである。			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア 人		582	626	640	663	655	670	685	690
② 対象指標	ア 人		578	626	640	663	655	670	685	690
③ 成果指標	ア %		99	99	100	100	100	100	100	100
投 入 費 用	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	314	336	352	340	348	362	370
	(A) 事業費計		千円	314	336	352	340	348	362	370
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	1	1	3	1	3	3	3
人 件 費	延べ業務時間		時間	200	100	24	60	24	24	24
	(B) 人件費計		千円	796	371	95	0	95	95	95
	トータルコスト(A)+(B)		千円	1,110	707	447	340	443	465	467

事務事業名	中学校進路指導対策支援事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	学校教育課
-------	---------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 特色ある学校づくりの推進が図られているため、進路が決定する。
有効性評価	③成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 成果は十分上がっている。現状を維持するためには事業の継続が必要である。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費であり削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の業務時間であり削減の余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 この事業により特定の個人又は団体に利益を生じさせるものではない。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 学校での進路指導のため移行はできない。

3 評価結果の総括（CHECK）

入試制度が複雑になっており生徒への情報提供を確実にしていく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												